

天城クラウド・コンピューティング・サミット開催

クラウド・コンピューティングがもたらす パラダイム・シフトについて白熱した議論を展開



日本IBMは8月24日と25日、「天城クラウド・コンピューティング・サミット」を開催しました。そこでは産業界、学术界、官公庁、メディア、リサーチから各界をリードする有識者とオピニオン・リーダーが一堂に会し、クラウド・コンピューティングによるイノベーションの創出と実現に向けた集中討議が行われました。

クラウド・コンピューティング（以下、クラウド）は、ITインフラの詳細や場所を仮想化し、ユーザーに対して柔軟でスケラブルなITサービスを提供します。あらゆる情報の電子化による情報爆発の時代に、ITの世界ではネットワーク接続性とアクセス・スピードの向上、ネットワークに接続可能なデバイスの普及などが相まって急速な変化を続けています。このような中、大規模なITリソースをネットワーク越しのサービスとして、オンデマンドに利用できるクラウドが新たなサービスの提供形態として注目され始めています。

本サミット開催の目的は、クラウドという新たな潮流とパラダイム・シフトをどのようにとらえ、産業の活性化、ビジネスの創出、人材の育成にどう生かしていくかについて活発な議論の場を提供することです。そのために、サミットはまずIBMからクラウド・コンピューティングという概念が出てきた背景やその技術動向、グローバルにおける先進事例についての情報を共有させていただいた後、各界の幅広い見識・経験をお持ちの参加者の方々にクラウドに対する期待や課題についてご意見をいただくという形

で進行了ました。

具体的には表1のアジェンダのような構成で討議が進みました。

表1：サミット当日のアジェンダ

全体セッション	
1	クラウド・コンピューティングがもたらすパラダイム・シフト
2	グローバルなクラウド・コンピューティング技術動向
3	クラウドに対する期待と課題 ・アナリストの視点 ・産業界からの視点 ・学术界からの視点
4	情報爆発時代におけるグランド・チャレンジ
5	IT業界における国際競争力強化に向けて
6	IT活用における人材育成などの政策課題について
分科会	
1	クラウドはどのようなパラダイム・シフトをもたらすのか？
2	クラウドにみるアカデミアにおける人材育成とグランド・チャレンジ
3	クラウドの新たな活用法
4	クラウドを実現・定着させるためのマイルストーンとブレイクスルー
総括セッション	
今後のクラウドの展開に向けて	

参加者の各代表からは、クラウドの今後の展開の予測や課題、すでに取り組みされているクラウド的なサービス、そしてインターネット規模での大容量情報処理研究の事例などについて発表がありました。また既存の基幹システムに対してもクラウドが有効か、といったシステム運用の視点からの質問をはじめ、クラウドによるサービスが定着・浸透した際のサービス・デリバリー・モデル、さらにはIT産業構造の変化についての意見交換もなされました。セッションの合間には、クラウドの時代に「データセンターを持たないデータセンター事業とは？」、「従来型のSIビジネスを行わないSlerとは？」といったユニークな発想の議論も交わされ、異業種の方々から出る意見を多くの方が楽しまれたようです。また、議論はクラウドやIT業界という枠だけにとどまらず、新たな潮流の中で、国内産業の活性化、国際競争力の向上、またそれを実現するための人材育成のあり方にまで広く展開されました。

2日間にわたるサミットを終え、多くの参加者から、「幅広い分野からリーダーが参加され、クラウドをはじめとした

さまざまな観点での意見を交換することができ、大変面白かつ有益であった」というコメントをいただきました。また、今後についても、継続的なサミット開催のご期待を多く寄せられました。

もちろん、今回のサミットにおいて、クラウドのあるべき姿や課題についてすべての議論が出尽くしたわけではなく、まだまだ議論が“雲の中”にあることは確かです。しかしながら、参加者の多くがクラウドによって引き起こされるパラダイム・シフトの大きなインパクトを予感されたのではないのでしょうか。

また、ある参加者からいただいた「変革の時代には“どうなる”という受動的な立場ではなく、“どうする”という能動的な態度で臨むべきである」という言葉は、忘れてはならない心掛けとして印象的なものでした。

IBM ではクラウドをグローバル・レベルで戦略的分野として位置付け、クラウド・テクノロジーの研究開発、自社デー

タセンターへの適用、ソリューションの構築や提供、ビジネスモデルの検討などを急ピッチで進めています。その一環として、今年 8 月に「クラウド・コンピューティング・センター @ Japan」を都内に開設し、クラウド技術のデモや技術セッション、海外のクラウド事例をお客様にご紹介し、お客様とともにクラウド適用分野の検討やソリューション設計、技術検証を実施する場を用意しています。

日本アイ・ピー・エム株式会社
ソフトウェア開発研究所
クロスブランドサービス&開発
専任開発技術担当部長

小林 誠士
Seiji Kobayashi

表2:天城クラウド・コンピューティング・サミット参加者リスト(五十音順、敬称略)

氏名	組織名	役職名
赤城 知子	IDCジャパン(株)	ソフトウェアグループマネージャー
石垣 禎信	(株)アット東京	代表取締役社長
大場 善次郎	東京大学	特任教授、情報システム副本部長兼業務改善本部長
嘉数 侑昇	北海道情報大学	学長
喜連川 優	東京大学	教授、生産技術研究所戦略情報融合研究センター長
栗原 秀樹	NTTコミュニケーションズ(株)	ITマネジメントサービス事業部サーバーマネージメントサービス部 担当部長
黒川 利明	(株)CSKホールディングス	総合企画部 CSKフェロー
柴山 茂樹	キヤノン(株)	デジタルプラットフォーム開発本部 副本部長
関口 智嗣	産業技術総合研究所	情報技術研究部門 研究部門長
大力 修	新日鉄ソリューションズ(株)	フェロー(常務取締役待遇)
田中 一郎	(株)NTTデータ	グループ経営企画本部/課長
田中 一男	(株)NTTデータ	基盤システム事業本部 統括部長
長崎 豊	ニッセイ情報テクノロジー(株)	次期システム推進本部 担当部長
西原 宏	(株)あおぞら銀行	専務執行役員
半谷 精一郎	東京理科大学	工学部第一部電気工学科 教授

氏名	組織名	役職名
平木 敬	東京大学	情報理工学系系研究科 創造情報学専攻 教授
平林 正吉	総務省	情報流通行政局 情報通信利用促進課 課長
福田 悦朋	(株)IDGジャパン	出版事業部 執行役員、発行人
堀内 敏明	GMOインターネット(株)	次世代システム研究室 室長
亦賀 忠明	ガートナージャパン(株)	リサーチ/バイスプレジデント兼 最上級アナリスト
丸山 不二夫	早稲田大学	大学院情報生産システム研究科 客員教授
村岡 洋一	早稲田大学	理工学術院 教授
村上 和彰	九州大学	情報統括本部本部長、副CIO、大学院システム情報科学研究院教授
谷島 宣之	(株)日経BP	「経営とIT」サイト 編集長
安浦 寛人	九州大学	大学院システム情報科学研究院 研究院長、教授
安川 新一郎	ソフトバンクテレコム(株)	執行役員、営業開発統括本部ビジネス開発本部 本部長
大和 敏彦	(株)ブロードバンドタワー	代表取締役社長
横澤 誠	(株)野村総合研究所/京都大学	客員教授(連携ユニット担当)
吉田 雅俊	(株)アイ・ティ・フロンティア	事業開発 執行役員

※表内の組織名および役職名は2008年8月末現在のものです。